

翔

極彩色の明日へはばたく関市

SEKI



関市 市勢要覧 2011

Summary of Seki City Administration

夢に向かって翼を広げ 今、飛躍のとき——

あふれる緑と、清らかな流れ……

豊かな恵みが独自の文化を育み

大きく発展してきた関市

まるで翼を広げたような地形には

多様な環境が混在し

見事な調和を生み出しています。

二十一世紀を通じて

いきいきとした潤いあるまちをめざして

未来へとはばたきます。

翔

関市市勢要覧 2011

特 集

クローズアップ① 【伝統の刃物産業】 … 3

クローズアップ② 【先端技術の拠点】 … 5

クローズアップ③ 【農業・林業】 … 9

クローズアップ④ 【清流・文化】 … 11

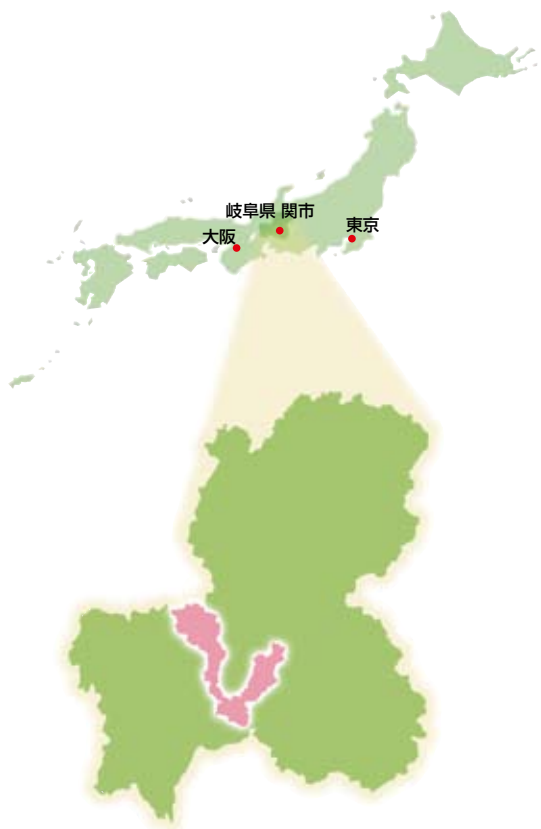
クローズアップ⑤ 【おすすめスポット】 … 13

観光マップ … 19



人口重心地のまち

平成12～平成17年国勢調査において日本の人口重心地は関市内にあり、関市はまさに日本のまん真ん中に位置します。



関市は、関東と関西の分岐点

古くから東西文化の要衝にあり、京都から飛騨に通じる交通の分岐点として栄え、この地に関所が置かれ、「関」の地名の起こりとなったといわれています。

現在では東海環状自動車道と東海北陸自動車道がつながり、中濃圏域の核として産業・観光・文化などに交流・連携が期待されています。



未来にはばたく関市

エピソード

33

日本一しあわせなまち、関市を

市民の手で創ろう

32

市民改革二〇二一

第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換

31

第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち

29

第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち

27

第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち

26

第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち

25

第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち

23

3エリアの輝きが響き合い豊かな未来へととはばたく

21

第4次総合計画

【翔】 ショウ

【意味】 翼を大きく広げて飛び舞う

関市は、鳥が翼を広げたような地形。未来へ向けて大きくはばたく市の姿を象徴しています。

産 業

【伝統の刃物産業】

刀匠の魂が脈々と 受け継がれて現代へ

独自の鍛錬法によって数々の名刀を生み出してきた関の刀匠たち。その卓越した技は現代の刃物産業に生きています。

七百余年の歴史と伝統

関の刃物の歴史は古く、鎌倉時代までさかのぼります。刀祖・元重が関へ移り住み、刀鍛冶を始めたのがきっかけとされています。さらに長良川と津保川が流れることから水運の便もよく、刀作りには適した条件を備えていたといわれています。そこで次第に多くの刀匠が集まるようになり、室町時代には300人を数えるまでになったといわれています。最盛期には「関の孫六」として名高い兼元や、兼定、兼房などの名刀匠を輩出し、技を競い合う中で独特の鍛錬法が誕生。名刀の一大産地として、大きな発展を遂げたのです。

「折れず曲がらずよく切れる」と評価が高く、特に鋭い切れ味で武士に愛されていた関の日本刀。その卓越した技術は今も連綿と伝えられ、現代の刃物産業の中にしっかりと息づいています。





関鍛冶伝承館

匠の技を今に伝える、多角的な展示が盛りだくさん。日本刀や関鍛冶の歴史をはじめ、近現代の刃物製品、関はもちろん国内外のナイフ作家による作品など、刃物文化の魅力を存分に楽しむことができます。古式日本刀鍛錬・外装技能師による実演が行われることもあり、見事な匠の技が目前で披露されます。



岐阜県刃物会館

関の刃物を買い求めるのに便利な施設。1階に広がる直売所には、約2,000点もの刃物製品がズラリ。多種多様なアイテムが市価の2割引程度で手に入ります。2階ではメーカーごとに優秀な刃物が展示され、ゆっくりと見比べることができます。

世界に誇るブランド

関の刀鍛冶は、時代の移り変わりとともに大きな変貌を遂げてきました。明治9年に廃刀令が發布される[®]と、多くが刀の生産から家庭用刃物に転向し、現在の姿へと発展したのです。関の刃物は日本国内で圧倒的なシェアを誇っており、海外へも輸出。今やドイツのゾーリンゲンと並ぶ世界的な産地となっています。ここまで成長した背景となっているのが、高い品質。古くから刀匠によって受け継がれてきた技術が今に生き続け、実用性と芸術性を兼ね備えた刃物が生まれているのです。平成20年には、特許庁の地域ブランドの認定を受けて「関の刃物」が登録商標となりました。時代のニーズに応えながら、更なる躍進を図っています。

◆◆◆ 日本刀の製造工程 ◆◆◆



1. 砂鉄
砂鉄と炭を熱して鉄のかたまりを作ります。(たたら製鋼法)



2. 玉鋼(たまはがね)
「たたら」でできた鋼のうち良質な部分(玉鋼)が刀の材料となります。



3. 積み沸し
玉鋼を熱し、厚さ3~6mmに平たく打って板状にします。それを小さく割ってかたさを調べ、かたさごとに1,300℃ぐらいの熱で溶かし1枚の鋼にします。ぬれた和紙につつんで「泥灰」をかけるのは鋼の表面と内部が均一に加熱されるようにするためです。

4. 折り返し鍛錬
鋼を1,200~1,300℃に熱し、大鎚でたたいては折り返します。このとき鋼の中の不純物はたたき出され、火花となって飛び散ります。



5. 火造り
素延べたものを熱し、刃になる部分、みねになる部分の形を打ち出していきます。



6. 荒仕上げ
やすりやせんを使って刃に残っているでこぼこを修正します。長年のカンが大切な仕事です。



7. 土取り・土置き
粘土と松炭で作った焼刃土を刃にぬり、刃のまよう(刃文)を作ります。

8. 焼き入れ
刀全体を約800℃に熱し、水に入れて一気に冷やします。このとき、焼刃土がうすくぬってある刃の部分は温度が高いため焼きが入ります。

9. 荒研ぎ(鍛冶押し)
焼き入れた刀のできくあいを調べるために、刀匠が自ら荒研ぎを行い、その後、室(ながこ)を仕立てて次の技能師にわたします。



刀鍛冶の道具

刃物まつり

刀祖・元重の遺徳を偲ぶとともに刃物のまちの発展を祈り、体育の日の前の土・日曜日に行われます。本町通りを主会場とする大廉売市をはじめ、古式日本刀鍛錬やアウトドアナイフショーなど盛りだくさん。刀都を象徴する一大イベントです。



産業

【先端技術の拠点】

国土の中央で 文化と情報がクロスする

大動脈が交差する日本の要衝にパワーが結集し
時代を動かす産業都市へ

昔から 交通の要衝として繁栄

産業が発達する上で重要な要素となるのが交通。関市は東西日本の分岐点であり、また岐阜県の中央部でもあることから、古くから交通の要衝となっていました。関市発展の源とも言える、昔の道路事情をひもといてみましょう。

古代においては、長良川の水運による利便性を活かして武儀郡を治める郡役所史跡・弥勒寺官衙遺跡群が、長良川河畔に置かれ物流の中心として栄えました。

中世、関市内には重要な街道が通っていました。例えば郡上街道は美濃と飛騨を結ぶもので、白山に参詣する人々で大いに賑わいを見せていました。その他、東山道の枝道である飛騨街道や、東山道の別街道である木曾川西古道等々があり、交通量の増加とともに活発な交流が促進され、経済発展へとつながっていったのです。

W・E センターポール関

“関より東が「関東」、西が「関西」”関東と関西を分岐する関市のシンボル・モニュメント。将来のさらなる飛躍を誓い、関鍛冶伝承館に設置。



関市は、関東と関西の分岐点

地名は関所が元になっていると考えられ、その名からも重要な、地域であったことがうかがえる関市。交通の要衝として古くから栄え、現在も発展し続けています。



至便な交通網

東海北陸自動車道と東海環状自動車道が市内を走り、美濃関ジャンクションで結節。これらの自動車道は北陸自動車道や名神高速道路とも接続しており、日本の大動脈と直結しています。



東海環状自動車道・関広見インターチェンジ



産業発展を支える交通

関市には至便な交通網が発達しています。その代表的なものの一つが東海北陸自動車道。愛知県一宮市から岐阜県を縦断し、北陸へと延びるこの自動車道が市街地を通過しており、玄関口として関インターチェンジが市の南部に設置されています。北は北陸自動車道、南は名神高速道路に接続しているこの道は、まさに太平洋と日本海を結ぶ大動脈。平成20年の全線開通によって北陸までは2時間強で結ばれることとなり、南北のアクセスが飛躍的に向上しました。中国やロシアとの物流拠点である日本海側とタイレクトで結ばれることで、大きな発展のチャンスが広がっています。

そして、現在も着々と建設が進んでいる東海環状自動車道が市内を横断。東回りルートでは富加関インターチェンジがあり、アクセスは抜群です。この自動車道は土岐ジャンクションで中央自動車道とつながり、さらに南へ延びて伊勢湾岸自動車道を経て東名高速道路と接続。自動車産業の豊田市や製陶・セラミックの瀬戸市等、製造業の集積都市と結ばれることで、製造効率の向上や新たな産業への展開が期待されています。さらに中部国際空港へのアクセスもよく、海外との取引等も至便です。

西に建設が進む東海環状自動車道には、西回りルートの起点となる関広見インターチェンジも完成し、平

成30年頃には全線開通が見込まれています。西回りルートが完成すれば、岐阜市や大垣市を経て名神高速道路と接続。さらに三重県の北勢等を経て伊勢湾岸自動車道・名神高速道路とつながり、関西方面との短時間交通が実現。国内の主要な経済圏を結ぶこととなります。

関市では、高速道路網の早期整備に取り組み、中部圏域主要都市との3時間以内の交通実現を促進。これまでにないような規模の交流を生み出すことによって大きな経済効果を導き出し、産業の発展に結びつけていきます。

さらに、近隣主要都市を結ぶ国道・県道の整備も促進。交通網のきめ細やかな整備を行っており、経済活動の発展を支えています。



先端技術が 集結する リーディングシティ



関工業団地

昭和59年に操業を開始し、当初より関の産業発展を担ってきた工業団地。関市南部に位置し、周囲は迫間山など、自然に恵まれた環境。自動車や刃物関連等、幅広いジャンルの企業が集積しています。

〈関工業団地の概要〉

- 所在地／岐阜県関市新迫間地内
- 事業主体／岐阜県土地開発公社
- 面積／59ha・分譲42ha(16区画15社)

関テクノハイランド

県土地開発公社が総事業費約150億円をかけて開発した工業団地。日本の中央に位置し、主要自動車道の結節点という有利な立地環境にあり、数々の優良企業が進出。高度に複合化された生産物流の拠点として、県下有数の規模を誇っています。敷地内は緑が豊かで、働く人々に優しい環境。発見された古墳が緑地内に保存され、周辺地域とも調和し、公園的な機能も果たしている21世紀型のハイテクパークです。

〈関テクノハイランドの概要〉

- 所在地／岐阜県関市のぞみヶ丘地内
- 事業主体／岐阜県土地開発公社
- 面積／76ha・分譲42ha(18区画12社)



躍進する産業の拠点

関市は、昭和59年に関工業団地が操業を開始して以来、産業のまちとして発展を続けています。そして近年、飛躍的な躍進の起爆剤となっているのが、関テクノハイランド。県下8番目の県工業団地として、平成16年より分譲が開始されました。

至便な交通網を存分に活用できる場所にあり、東海北陸自動車道美濃インターチェンジからは2.4km、関インターチェンジからは8km、そして東海環状自動車道富加関インターから4kmと好立地。2つの自動車道の結節地点にもなっており、県外企業の進出も目立ちます。関テクノハイランドは先端技術型生産拠点として、雇用面を含め、地域の経済を活性化させています。

伝統産業と

新産業の共栄を目指す

伝統的な地場産業とその他の産業がバランスよく発達しているのが関市の特徴。国内外にその名をとどろかせている伝統産業の刃物では、理髪用刃物や包丁、はさみ、ナイフ等多彩な品を生産。受け継がれてきた高い技術を活用して時代のニーズに合った製品にも対応しており、エコロジーやユニバーサルデザイン、リサイクルをキーワードとした新製品の開発にも力を入れています。

そして関テクノハイランドに進出した企業により、新たな産業である



クロスアップ

②

産業

「先端技術の拠点」



地域ブランド「関の刃物」

関の刃物作りの名声は、700余年にわたる先達の切れ味を求め続けたあくなき研鑽の歴史であり、時代ごとに匠が積み重ねて得た鍛錬の精神を理念と掲げ、伝統の技として継承し、今日の多様化した生活者の要求に応えてきたものであります。

更に、新たな時代の革新的な素材や技術を駆使して、優れた機能、デザイン、耐久性はもとより、確固とした品質管理を行い、品質を保証しつつ新しい時代の刃物を創造していきます。

未来を託す地場産業として地域ブランド「関の刃物」と銘打ち、変化する市場を捉え地域ブランドとして「関の刃物」を掲げ発信していきます。



ユニバーサルデザインの製品

ユニバーサルデザイン(UD)「できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザインにすること」をコンセプトにした、人に優しい考え方です。関の刃物業界は、このUDの概念を取り入れた製品を積極的に開発し、使い手の立場を考えた優しい刃物を提供しています。



関工業団地内の企業

車に関する製品を生産する会社や、各種家庭用品を製造する会社など、多様な業種が集結。昭和59年操業という歴史ある工業団地で長年にわたって成長を続け、関の産業を支えています。



関テクノハイランド内の企業

平成18年操業という新しい工業団地に参入しているのは、自動車や航空機などの部品や各分野の機械製品など、先端技術を駆使して製造に携わる企業。自然豊かな恵まれた環境のもと、のびのびと生産活動が行われています。

自動車関連産業や航空機器の金属部品産業、金型やメッキ関連産業等も大きな伸びを示しています。
「刃物のまち・せき」として伝統ある刃物産業を推進しながら、積極的な企業誘致も行い、新産業の振興にも力を入れています。

産 業

【農業・林業】

豊かな自然環境を活かして 安全な恵みを未来に！

関の恵みが育んだ
特徴ある農林業を次世代へつなげていきます。

特徴を活かして
魅力ある農林業を推進

豊かな森と清流によって育まれる農業は、関市の特産米「みのにしき」をはじめとする平坦地域の水稲栽培と水田転作物や、中山間地域での昼夜の温度差を活かした果樹やお茶栽培が特徴。また、大規模な酪農や牛、豚、鶏の飼育も行われ、豊富な農畜産物を生産している。

野菜については重点作物を設定し、いちご、里いも、なす、はくさいの生産を強化。新しい品目にも挑戦しており、ゆず、キウイフルーツ、ブルーベリーといった農産物の生産振興も図っています。

近年は食の安全が注目され、徹底した管理が求められています。消費者のニーズに対応しながらおいしい食材を安定供給できるよう、地域農業の生産力向上を促進しています。

林業については、経営コストの上昇や担い手の減少等により、厳しい情勢が続いています。地元産の木材を使用した住宅建築や、しいたけなどの特産品の生産拡大に力を入れ、県産材の利用を促進する活動も展開しています。また、林業経営の担い手や森林技術者を育成するための取り組みも強化。林業体験や森林教室の開催等も積極的に行っています。

森林は、林産物の供給はもちろんですが、洪水や山崩れの防止、質の良い水の安定供給、地球温暖化の防止等、様々な機能を持っています。植栽や間伐等の整備事業を計画的に進め、健全な森林づくりを推進していきます。



林業



伐 採

関の豊かな森林からは質の良い木材が切り出されています。これらを最大限に活用して林業を振興できるよう、県産材の利用を拡大。さらに様々な林産物の生産を促進し、林業収入の安定化を図っています。



デカ木住宅



森林整備 (下刈り)



森林整備 (植林)



森林教室



農産物直売所



田植え体験

農業



地産地消・農業体験

農業体験や市民農園の利用を通して市民の農業への理解を深めるとともに、朝市や農作物直売所により、地産地消を推進し安全で安心な農作物の生産と消費を結びつけます。



稲刈り体験



関地域の円空さといも



洞戸地域のキウイフルーツ



上之保地域のゆず



板取地域のブルーベリー



肉用牛の飼育



武儀地域のしいたけ



篝火に浮かぶ 水上の古典絵巻

風折鳥帽子に腰蓑姿の鵜匠が、巧みに鵜を操って鮎をとらえる…
清らかな流れが伝統文化を生み、豊かな生態系を育みます。



情趣豊かな小瀬鵜飼

夕日が傾き、辺りが少しずつ暮れゆく頃、観客を乗せた屋形船がゆつくりと長良川の中央へ漕ぎ出されます。昔ながらの風情を大切にしている小瀬鵜飼では船外機を使っておらず、全て船頭による手漕ぎ。観客たちは優しい揺れに身を任せながら、食事をしたり歓談したりと、しばし船遊びを楽しみます。

日がすっかり沈み、一面が漆黒の闇に包まれると、いよいよ鵜舟の登場です。赤々と燃える篝火のもと、伝統衣装に身を包んだ鵜匠が鵜を巧みに操り、鮎漁を行います。「ホウホウ」と鵜を励ます声、船縁を叩く音、水中に潜って懸命に鮎を追う鵜の姿：古代絵巻のような幻想的な光景に、誰もが夢見心地に。鵜が見事に鮎をくわえると、鵜匠と観客の興奮は最高潮に達し、拍手が湧き起ります。

素朴な風情がある小瀬鵜飼。鵜舟と一緒に屋形船も川を下る狩り下りも大きな特徴で、すぐ目の前で鵜飼漁を堪能することができます。

古式ゆかしい伝統の技

小瀬鵜飼は、一千有余年の歴史がある伝統的な古代漁法。平安時代の延喜11年、醍醐天皇は小瀬鵜飼を「天下の名職、名産、名魚なり」と絶賛したと伝えられています。以来、朝廷をはじめ織田信長や徳川家康といった権力者の保護を受け、明治23年には宮内庁の直轄になりました。

小瀬鵜飼の鵜匠は宮内庁式部職で世襲制。鵜とともに生活しながら愛情を込めて世話をし、鮎を捕るために厳しい訓練を実施します。鵜匠と鵜の深い信頼関係があつて初めて成り立つ漁法なのです。

鵜飼開催期間は、5月11日から10月15日。情趣あふれる古代漁法を連綿と伝承し続けています。



幾筋もの清流に恵まれて

関市はたくさんの清流に恵まれたまち。市の総面積の80・9%を占める豊かな森林が雨水をため、天然の浄化装置の役割を果たし、清らかな流れを育んでいるのです。

関地域を流れているのは、全国的にも名高い長良川。環境省による名水百選にも選ばれており、その美しさは折り紙付きです。そして長良川の支流もバラエティ豊か。洞戸・板取地域には板取川、武芸川地域には武儀川、そして武儀・上之保地域には津保川……。どの川も豊かな自然生態系が保たれており、釣りを楽しんだり、川遊びをしたり、紅葉を愛でたりと四季折々の楽しみがいっぱい。市民はもちろん、他都市の人々からも親しまれています。



ホタル

水質のよい関市の川では、5～6月になるとあちこちで幻想的なホタルの光を觀賞することができます。



自然観察会

川に入って流れを体感したり、自らの手で魚を捕まえたり……。自然観察会では、子どもたちに生きた学習の場を提供しています。



河川への放流事業

豊かな漁場としての河川を維持するために、鮎やアマゴの放流を子どもたちと一緒にし、河川に親しむ機会を提供しています。



谷口水辺公園

美しい芝生が広がり、休日になると各種軽スポーツを楽しむ親子連れで賑わう公園。イベント広場では、様々な催しが行われます。



川遊び

長良川の支流である板取川は、エメラルドグリーンの水を湛える清流。鮎をはじめアマゴやイワナなど様々な川魚が棲息し、釣りや川遊びを楽しむことができます。



鮎釣り

鮎は香魚とも言われ、豊かな香りを持つ清流の女王。解禁日になると、その味に魅せられた多くの太公望が釣り糸を垂らします。



鵜

鵜飼の主役とも言える鵜は、そもそも野生のウミウ。鵜匠が自宅で世話をし、厳しい訓練を約3年重ねて一人前に育てています。



観光

【おすすめスポット】



自然、歴史、文化！
見どころがいっぱい！
歴史ロマンに思いをはせ、四季折々の自然に心を解き放ち！
楽しみ方は自分流。多彩な魅力が詰まっています。



川浦溪谷
春は新緑、秋は紅葉狩りと、四季折々に様々な楽しみ方があり、溪谷美を満喫できます。



八滝
八滝ウディランドの奥に位置し、落差は12m。深い緑の中で爽やかな水しぶきをあげています。



白水の滝
板取の南部にあり、優雅な流れが印象的。真っ白なしぶきを上げる姿にちなんでこの名がついたと言われています。



明石谷にある月窓杉
落城して自害した田口城城主長屋重の祖父、重景の墓標が根付いたといわれ、その名は重景の法名に由来しています。



杉原の大杉
杉原の穴で命を落とした尼僧を葬った際に植えられたと言われる大杉。樹齢は800～900年です。

四季折々に見事な自然美が楽しめる関市。

春は花見の名所である寺尾ヶ原千本桜公園がオススメ。約2kmにわたって約2,000本の桜並木が続きます。

夏は板取のキャンプ場で川遊び。冬の雪景色も圧巻です。

秋はせいべえ淵で紅葉狩りを。錦に染まった木々が水面に映る様は、感動的な美しさです。





関の刃物
包丁をはじめとするキッチン用品やハサミなど、暮らしの質を向上させる刃物が揃っています。



キウイ



川魚料理



ジャム・シロップ
胃腸に優しいと言われる野草のいたどりや、風味豊かなゆず・かりんなど、天然素材のおいしさを活かして仕上げてあります。



きやらぶき

関市の特産品

世界に知られる刃物をはじめ
おいしいものや名物がいっぱい。
是非お試しください。



さわやかゆじゅ
ゆずは上之保の特産品。爽やかな風味を活かした自然飲料として売り出しており、幅広い年齢層に人気です。



椎茸スナック



つるむらさきうどん

奥美濃古地鶏

国の天然記念物となっている「岐阜地鶏」をベースに誕生したもので、肉・卵ともにコクのあるうま味が魅力。特定JAS適合の地鶏肉にもなっており、国のお墨付きです。



高賀の森水

1億年前の地層から湧き出る天然水を詰めたもの。非加熱にこだわり、自然のままの風味が生きています。平成20年にはモンドセレクションで大金賞を受賞。世界も認めるおいしさです。



照会先／関市観光協会 (0575) 22-3131



百年公園

岐阜県置県100年を記念して作られた公園。約100haという広大な敷地内には遊歩道や噴水広場、テニスコートなど様々な施設が点在。花木園や紅葉園などあり、四季を通して自然の美しさを満喫できます。



菖蒲園

公園内には100種2万株の花菖蒲が植えられ、6月中旬に開花。色とりどりの花が雨に映えます。

中池公園

周囲2kmの中池沿いに広がり、陸上競技場や野球場も備えるスポーツレジャー公園。芝生広場やふれあいの森もあり、憩いの場にもなっています。



株杉

推定樹齢400～500年という巨大な株杉。地上2～6mで複数に分かれており、自然の神秘を感じさせてくれます。21世紀の森公園には70株以上が群生しています。



あじさい村

板取地域には「日本の道百選」にも選ばれた約24kmにわたるアジサイロードや21世紀の森公園に咲き乱れる約10万本のあじさいを愛でながら、数々のイベントが楽しめます。

観光

【おすすめスポット】

円空 えんくう

江戸時代の僧である円空は、全国を行脚しながら12万體もの仏像を制作。晩年は関市の弥勒寺を拠点にして旅を続けました。野性味にあふれ、穏やかな笑みをたたえているのが円空仏の特徴で、市内にも多くの作品が残されています。



円空記念館

個性豊かな30体の円空仏があり、最高傑作とも言われる一木作り三像も収蔵しています。



円空館

円空にゆかりのある弥勒寺の西にあり、落ち着いた雰囲気の中で円空仏を鑑賞できます。

自然、歴史、文化…
見どころがいっぱい！
歴史ロマンに思いをはせ、四季折々の自然に心を解き放ち…
楽しみ方は自分流。多彩な魅力が詰まっています。

仙厓 せんがい

関市武芸川町出身で、良寛と並ぶ名僧と言われた江戸時代の禅僧・画家。博多の聖福寺で住職を勤めた後、本格的に絵の道を志します。痛烈な風刺画からユーモアあふれるものまで、温かい眼差しで描きながら禅の普及に尽力しました。



永昌寺

室町時代に開創され、仙厓の両親の墓もあります。境内にあるイチヨウの大樹は市の文化財です。



武芸川ふるさと館

仙厓の作品を中心に、武芸川地域ゆかりの作家の作品を展示しています。



観光

【おススメスポット】

国指定史跡

弥勒寺官衙遺跡群

弥勒寺遺跡群は、古代(奈良・平安時代)の武儀郡を治めた豪族ムゲツ氏が残した遺跡群です。白鳳寺院の弥勒寺跡、武義郡衙(郡役所)跡の弥勒寺東遺跡、祭祀跡の弥勒寺西遺跡、ムゲツ氏の奥津城(墓所)である池尻大塚古墳からなります。

壬申の乱(672年)で、大海人皇子の舎人(近従)であった身毛君広が活躍し吉野方を勝利に導きました。その功績が認められて寺院の建立が許され、また自らの拠点を郡役所に作りかえて郡司としてその後の武儀郡を治めました。遺跡群は地方自治発祥の地でもあります。

弥勒寺跡は昭和34年に国の史跡に指定され、さらに平成19年には弥勒寺東遺跡が追加指定され、この2つの遺跡を合わせて国指定史跡「弥勒寺官衙遺跡群」と呼ばれます。弥勒寺西遺跡と池尻大塚古墳も含め、郷土の誇る遺跡群として大切に保護されています。



長良川と弥勒寺遺跡群【写真上】
長良川の水運を活かし、武儀郡を治めた郡役所跡。

弥勒寺跡塔心礎【写真下】
塔の心柱を支えた礎石。



八幡神社

風格のある鳥居が印象的。社叢は県の特別天然記念物に指定され、境内の右側にそびえる榎の木は樹齢450年以上と推測されています。



高賀神社

創建は奈良時代にさかのぼり、その後3回の再建を重ねています。



春日神社

大和から関へ移住した刀匠によって鎌倉時代に開かれ、奈良にある春日大社の分霊が祀られている神社。境内に能舞台を持ち、国の重要文化財の能装束なども残っています。



白谷観音堂

美濃西国33巡礼札所の第1番として親しまれ、33体の仏像が祀られています。



宗休寺(関善光寺)

本堂が高い石段の上にあり、信州の善光寺本堂にそっくり。堂内にある円形の戒壇廻りは日本唯一で、大梵鐘も国内有数のもの。隣りには大仏殿があります。



武芸八幡宮

創建は養老元年(717年)で古い歴史があり、織田信長とも深い関わりがある神社。社殿は森蘭丸の祖先が再興したと伝えられています。



新長谷寺(吉田観音)

鎌倉時代の創建で「美濃の法隆寺」ともいわれ、国の重要文化財である七堂伽藍や十一面観音など文化財の宝庫。三重塔を借景とした曼荼羅庭園は見事な景観です。



日竜寺(高澤観音)

岐阜県最古の寺。本堂前方が清水寺のような舞台造りであることから「美濃清水」とも呼ばれます。多宝塔は、北条政子によって寄進されたと伝えられる国の重要文化財。

観光

【おすすめスポット】

春



関まつり

4月の第3土・日曜日に市内一円で行われ、加茂山車・浦嶋山車の引き揃えや神楽の練り歩き、あんどんみこしコンクールなどで盛り上がります。



先谷まつり



水無神社例祭



花馬まつり



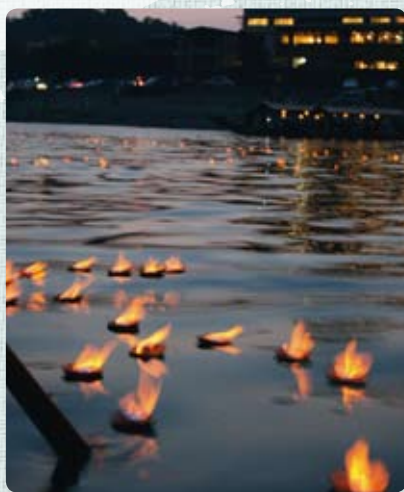
小瀬鵜飼



天王まつり



ちょうちんまつり



円空川まつり



稲口・津保川河畔の花火

夏

祭り、イベント
春夏秋冬
見どころがいっぱい！



高賀神社秋の大祭



迫間不動尊・秋季大祭

刃物まつり



イベントカレンダー

1月 JANUARY

- 1日 平成の山から初日の出を見る会 [武 儀]
- 1日 新春ジョギング大会 [上之保]
- 2日 古式日本刀鍛錬打ち初め式 [関]

2月 FEBRUARY

- 18日 吉田観音・初観音 [関]

3月 MARCH

- 第3日曜 関シティマラソン [関]
- 第4日曜 迫間不動尊・春季大祭 [関]

4月 APRIL

- 第2日曜 先谷まつり [上之保]
- 上旬~中旬 寺尾ヶ原千本桜公園・桜まつり [武芸川]
- 中旬の日曜 武芸八幡宮祭礼・花馬まつり [武芸川]
- 第3土日曜 関まつり・あんどんみこしコンクール [関]
- 中旬の日曜 水無神社例祭 [武 儀]
- 中旬~下旬 春の花まつり [洞 戸]
- 29日 高賀神社春の大祭 [洞 戸]

5月 MAY

- 11日 小瀬鯉飼開き(〜10/15まで) [関]

6月 JUNE

- 中 旬 百年公園・花しょうぶまつり [関]
- 中 旬 日本平成村エコピアデー [武 儀]
- 下 旬 あじさい村 [板 取]

7月 JULY

- 下 旬 天王まつり [関]
- 下 旬 ちょうちんまつり [洞 戸]
- 最終土曜 ふるさと夏まつり [関]

8月 AUGUST

- 第1日曜 円空川まつり [関]
- 9日 吉田観音・九万九千日供養 [関]
- 12日 ええとこ上之保夏まつり [上之保]
- 14日 ふるさと夏まつり(花火大会) [武芸川]
- 中 旬 関市民花火大会 [関]
- 中 旬 サマーフェスタin日本平成村 [武 儀]
- 17日 お十七夜 [関]
- 23日 地蔵まつり [関]

9月 SEPTEMBER

- 第4日曜 迫間不動尊・秋季大祭 [関]

10月 OCTOBER

- 体育の日の前の土・日曜 刃物まつり [関]
- 15日 小瀬鯉飼終い [関]
- 中旬~下旬 百年公園・オータムフェスティバル [関]

11月 NOVEMBER

- 3日 高賀神社・秋の大祭 [洞 戸]
- 8日 刃物の日「刃物供養祭」 [関]
- 8日 ふいごまつり・元重翁慰霊祭 [関]
- 第3日曜 中瀬農業祭 [関]
- 最終日曜 ほらどキウイマラソン [洞 戸]



刃物のまち関シティマラソン



鍛錬打ち初め式



平成の山から初日の出を見る会



吉田観音・初観音

関市観光マップ



1 道の駅 平成



2 道の駅 むげ川



3 道の駅 ラステンほらど



4 武芸川温泉「ゆとりの湯」



5 板取川温泉「バーデハウス」



6 上之保温泉「ほほえみの湯」



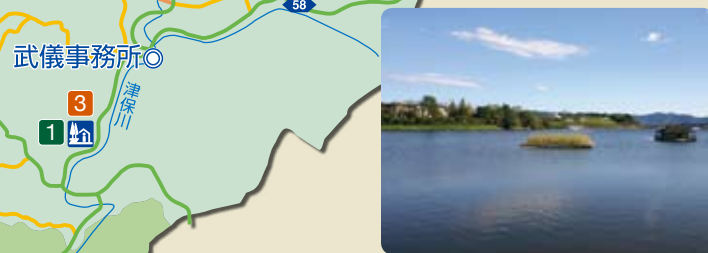
7 岐阜県博物館・岐阜県百年公園



8 フェザーミュージアム



1 武芸川スポーツ公園



2 中池公園



3 しあわせの気の森



4 八滝ウディランド





Sightseeing Guide - SEKI

キャンプ場ガイド

- | | |
|--|---|
| A 洞戸キャンプセンター
☎(0581)58-2913 | J 板取川温泉オートキャンプ場
☎(0581)57-2552 |
| B 迎島バンガロー
☎(0581)58-2133 | K AUTO CAMPING TACランド いたどり
☎(0581)57-2200 |
| C 板取川バンガロー
☎(0581)58-2810 | L ミツ石オートキャンプ場
☎(0581)57-2500 |
| D オートキャンプ場 鮎の里ほらど
☎(0581)58-2444 | M ログキャビン chena
☎(0581)57-2440 |
| E 板取キャンプ場
☎(0581)57-6721 | N ロッジ杉沢
☎(0581)57-6535 |
| F キャンプランド新板取
☎(0581)57-2451 | O プライベートホステル YAMAME
☎(0581)57-2331 |
| G 黒谷キャンプ場
☎(0581)57-2124 | P コテージ湯屋
☎(0581)57-2800
090-2184-3427 |
| H すぎのこキャンプ場
バンガロー村／☎(0581)57-2902
テント村／☎(0581)57-8184 | Q 四季の森(バーベキュー施設)
☎(0581)57-6722 |
| I 七曲バンガロー
☎(0581)57-2131 | R ネイチャーランドかみのほ
☎(0575)47-2023 |





3 エリアの輝きが響き合いたく 豊かな未来へとはばたく

かけがえのない豊かな自然を守り、共生しながら潤いあるまちづくりを進めることはみんなの願い。

さらに関市は日本の中央に位置し、至便な交通網を有することから、

交流を通じて産業や観光等、様々な分野における発展が期待されます。

心豊かな生活を大切にしながら、人、物、そして情報が交流する、活力あふれる都市を目指していきます。

まちづくりとは、市民の夢を実現させるため、それを政策に置き換えて施策を実施していくことです。関市では、地域審議会や市民ワーキングからの提言を数多く盛り込んだ第4次総合計画を策定。平成20年度からスタートして、10年後の平成29年度を目標年次におきました。この総合計画に沿ってまちづくりを進めています。

第4次総合計画の基本理念は「改革と協働で築く自立のまち」。市民が21世紀も夢を持ち続けていくには自立が不可欠です。これを持続していくため、確かな自治体経営力をつけて「改革と協働」を推進していきます。

そして、将来都市像を「水と緑の交流文化都市」ときめき・きらめき・いきいき・せきし」としました。活気を生み出すに

は人口増加が欠かせないことから、平成29年の目標人口を9万5000人に設定。積極的に企業を誘致して勤労者の定住を図り、目標達成を目指します。

さらに誰もが住み続けたいまちを実現するため、地域の特性を活かした土地利用を推進します。都市計画区域となっている関・武芸川地域は、市街地再開発事業や街なか居住等を推進し、効率的な都市整備を図ります。東ウイングは、自然を活かした整備を進めます。そして西ウイングには観光資源が多いことから、滞在型の観光を目指していきます。

これを実現するため、5つの政策と「改革と協働」の実現方策を柱として取り組んでいきます。

政策体系

将来都市像

水と緑の交流文化都市

基本理念

改革と協働で築く自立のまち

5 政策

1 方策

改革と協働

行政目線から市民目線、
管理から経営への転換

郷土を誇りに思い、
豊かな心と志を持つ市民が育つまち

人と地球が共生できる
安全・安心で快適なまち

伝統のわざと新しい技術が織りなす
力強い産業のまち

行きかい、ふれあい、
つながりが生まれるまち

みんなで手を取りあい、
いきいき暮らせるまち



都市宣言

安全都市

関市は、全市民が相協力し、一切の事故、災害の除去及び防止につとめ、お互いに基本的人権を尊重して相侵さず、生活に交通に、はたまた産業活動に絶対安全を期し、市民が幸福な生活を営めるよう、ここに「安全都市」を宣言する。

(昭和37年3月10日)

青少年を守る都市

関市は、全市民が相協力し、次代になう青少年の健全な育成につとめ、住みよい明るい関市の建設を推進するため、ここに「青少年を守る都市」を宣言する。

(昭和41年5月11日)

明るく正しい選挙を推進する都市

関市は、全市民が相協力し、明るく正しい選挙を推進し、真に、民主政治を確立するため、ここに「明るく正しい選挙を推進する都市」を宣言する。

(昭和42年3月10日)

姉妹都市

関市とモジ・ダス・クルーゼス市は、相互に文化、産業、経済の交流を図って両市の友好を深めるとともに、日伯両国の親善と、ひいては、これが世界の平和と人類の福祉に貢献することを念願して、ここに両市が姉妹都市として提携することを宣言する。

(昭和44年5月20日)

愛の献血推進都市

関市は、全市民が相協力し、輸血用血液確保のため万全の体制確立につとめ、健康で明るく住みよい生活を営めるようここに「愛の献血推進都市」を宣言する。

(昭和49年10月21日)

福祉ボランティアのまちづくり推進都市

関市は、全市民が協力し、ボランティアの育成強化に努め、幸せで住みよいまちにするため、ここに「福祉ボランティアまちづくり推進都市」を宣言する。

(昭和63年3月4日)

人権宣言都市

私たち関市民は、自らの人権意識を高め、人権尊重の輪を広げ、生きがいと思ひやりのある都市を築くよう努め、「友情と信頼あふれた魅力的な関市」の実現のため、ここに「人権都市」を宣言する。

(平成6年3月8日)

平和都市

豊かな水と緑の恵みを受け、清流長良川の流れのように、ひらけゆく未来をもつ関市をまもり発展させることはわたしたちの願いである。わたしたちすべての市民は、全人類の願いである核兵器の廃絶と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言する。

(平成6年3月25日)

生涯学習都市

市民が健康で生涯いきいきと学べるような生涯学習社会の構築をめざし、次のとおり「生涯学習都市宣言」を行う。

私たちは
豊かな自然にめぐまれた
ふるさと“せき”を愛し
ときめく心で自らをみがき
きらめく人生を求めて
健康で生涯いきいきと学んでいこう

(平成8年10月15日)

友好都市

関市と黄石市とは、相互に教育・文化・体育・産業・経済の各方面に広範な交流と協力をを行い、両市の繁栄と、日中両国の友好関係の発展に努め、ひいては、世界の平和と人類の福祉に貢献することを念願して、ここに両市が友好都市として提携することを宣言する。

(平成9年10月24日)

姉妹都市

関市と氷見市とは、相互に教育・文化・スポーツ・産業・経済などの各方面に広範な交流と協力を通じて友好親善に努め、両市の繁栄と市民福祉の向上に寄与することを念願し、ここに両市が姉妹都市として提携することを宣言する。

(平成11年3月12日)

環境都市

私たちのまち関市は、人と自然が共生できる社会をつくり上げていくため、これまで以上に環境の保全に努めるとともに、豊かで快適な環境を積極的につくり出すことを決意し、ここに「環境都市」を宣言する。

(平成12年3月13日)

キャッチフレーズ

ときめき きらめき
いきいき せきし

7字入っている「き」が軽快なリズムを生み出しているこのキャッチフレーズ。「きらめき」からは、市街地の北部を流れる長良川の美しい水と、地場産業である刃物の輝きが連想され、さらに「き」の語感が「せきし」の「き」に強く反映しています。歴史と伝統に培われた関市は、随所に文化的な要素があります。それが「わがふるさと」の心の糧となり、また、まちの風格、魅力にもつながっています。そもそも文化とは、人が長い歳月をかけて大切に培ってきたもので、この意味でまちづくりは、まさに1つの文化であるといえます。多くの先人が並々ならぬ努力によって築き上げたこのまちに、現代のよい面を少しでも加え、住みよいまちづくりに努めていきたいと願っています。

水と緑の交流文化都市





第1章

みんなであい、いきいき暮らせるまち

健康やかな生活を実現するため、健康を維持する生活習慣づくりや医療体制の整備を進めるとともに、自助努力や助け合いを支援していきます。そして人どうしが尊重し合える環境づくりを進めます。



市役所のアトリウムで、お昼休みに若草アフタヌーンコンサートを開催。多くの市民が鑑賞します。



グリーン・フィールド中池は、サッカーとラグビーに対応する競技施設。会議室や本部室、シャワー室等も完備しています。



児童センターや子育てサロン、地域子育て支援センター等、子育てを支援する施策が充実。安心して生み育てることができる環境を整えています。



多くの外国人が暮らしている関市では、国際理解を深めるために様々な交流イベントや講座を開催。触れ合いを通して、多様な文化を尊重し合う共生社会づくりを行っています。

幸せな暮らしはみんなの願い。誰もが充実した日々を送るためには、市民と市がパートナーとなり、力を合わせて福祉問題に取り組む必要があります。車いすの体験乗車などのイベントや懇談会の開催、ボランティア活動拠点の整備などを通して、地域福祉活動を推進しています。





本格的な高齢社会を迎え、お年寄りがいきいきと過ごせるまちづくりが求められています。そこで、スポーツや各種レクリエーションの開催、自立を助ける地域ケア体制の整備、また在宅福祉サービスなどを強化。支え合いの精神を大切にしながら、ニーズに応じたサービスを提供していきます。



男女共同参画を積極的に推進。男女を問わず能力や個性を活かすことができるよう、意識の高揚を図ります。



急病や事故の際には、どこにいても迅速な治療が受けられるよう、救急医療体制の整備を促進します。



健康は日頃の心がけから。特定健診や心肺蘇生法の講習、保健相談などを通じて、健康づくりを支えます。

人 権

- すべての人々が互いに認め合える人権意識の高揚を促進します
- 男女が支え合える男女共同参画を促進します
- 身近な人権問題、家庭問題の解決の早期化を促進します

健康・医療

- 健康的な生活習慣づくり、保健、疾病予防を計画的に推進します
- 保健、疾病予防の拠点施設である保健センターの機能強化を推進します
- 「健康寿命」を延ばす調和のとれた健康増進を促進します
- 健康の早期回復につながる早期発見、早期治療を促進します
- 健康増進から医療まで対応できる地域医療体制整備を促進します
- 急病、事故に24時間迅速に対応できる救急医療体制整備を促進します
- 国民健康保険制度の安定化を推進します
- 乳幼児、母子父子、重度心身障がい者などの健康の保持と福祉の推進を図ります

地域福祉

- 地域の福祉問題を市民の手で解決する仕組みづくりを計画的に推進します
- 組織、団体と一体となって地域の福祉問題解決を推進します
- 生活困窮者の自立につながる適正な生活保護施策を推進します

子 育 て

- 次代を担う子どもが健やかに育つよう、地域とともに環境づくりを推進します
- 子どもを安心して預けられる子育て施設を充実します
- 子どもを安心して育てられるよう、経済的支援を充実します
- 心身障がい児の社会適応に向けた機能訓練体制を充実します
- ひとり親家庭の自立を促進します

高 齢 者

- 高齢者の生活に欠かせない保健、福祉サービスを計画的に充実します
- 高齢者福祉サービスの提供施設を充実します
- 高齢者の自立を促進します
- 相互扶助により高齢者の健康を維持する高齢者医療制度の適正な運用を促進します

障がい者

- 障がい者の自立につながる福祉サービスを計画的に充実します
- 障がい者の自立を促進します

公 的 年 金

- 相互扶助で人生を支えあう公的年金制度への加入を促進します

コミュニティ

- 地域問題を地域で解決できる「地域力」を強化します
- 国際理解・国際交流を進め、多様な文化が共生する地域社会づくりを推進します

第2章

行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち

日本の中央に位置し、国内の主要な経済圏を結ぶ高速道路が結節する関市。交流がもたらす経済効果を市の活性化に結びつけます。さらに人に優しい交通や情報通信基盤の整備にも取り組みます。



東海北陸自動車道や東海環状自動車道、近隣主要都市を結ぶ幹線道路、長良川鉄道や幹線バス路線などの公共交通機関の活用と整備を推進。支線となるコミュニティバスやNPOによる輸送サービスなども組み合わせ、便利で快適な生活をサポートします。



緑豊かな美しいまちには人々が集い、活気を生み出します。散策する人も増え、心身のリフレッシュにつながる効果も。市民が自然に歩きたくなるような、人にも地球にも優しい道路整備を推進します。



関市は地域によって様々な特徴があります。地域の特産品を加工して販売したり、イベントを開催するなど、地域の活力向上を促進していきます。

道 路

- 国土の中央から広がる高速道路網の整備を促進します
- 近隣主要都市を結ぶ国道、県道の整備を促進します
- 安全で便利な市道網整備を推進します
- 安全に市街地散策できる遊歩道や歩行者道の整備を推進します
- 生活に欠かせない市道機能の維持管理を推進します

公 共 交 通

- 便利で快適な交通機関、鉄道、バスの運行充実を促進します

情 報 通 信

- 地域の情報格差是正を計画的に推進します
- 情報通信基盤とアプリケーションの均衡ある整備を促進します

地 域 振 興

- 地域の特性を活かし、地域の活力の向上を促進します



第3章

伝統のわざと新しい技術が 織りなす力強い産業のまち

刃物をはじめ各種ものづくり産業を支援し、地域経済を活性化化する産業が定着するまちを目指します。また、安全・安心な農産物の生産や林業・観光業の支援も推進していきます。



食への関心が高まり、安全・安心な食材が求められています。こだわり農業の促進や労働生産性の高い農業への転換などを図り、地域農業をサポートします。



関市は昔から刃物のまちとして栄え、各種刃物産業が盛んです。こうした伝統産業を振興して関ブランドを形成。新産業との共栄を図ります。



観光は有力な成長産業の1つ。刃物まつりや小瀬鵜飼をはじめ、恵まれた自然環境を活かしたレジャーや特産品開発等を推進し、滞在型の観光を振興します。



豊かな森林資源を持つ関市。担い手の高齢化や経営コストの上昇など厳しい状況が続いていますが、県産材利用の促進などを通して林業の振興を図ります。

伝統産業・新産業

- 伝統産業と新産業が共栄する都市形成に向け伝統産業の振興を図ります
- 定住人口増加につながる新産業の振興、企業誘致を推進します

労働力

- ものづくり都市の生産力を維持するため、市内就労、市内就業を促進します

商業・消費

- 市街地の賑わい復活を計画的に推進します
- 身近な商店に購買客を呼び戻すための商業活動を促進します
- 消費生活に潜む危険や不当な行為の排除を促進します

農業

- 「安全でおいしい食を供給する地域農業」の生産力向上を促進します
- 農業経営の基盤強化につながる畜産を振興します

林業

- 森林が持つ多様な機能の向上につながる森林整備を促進します
- 林業の継続につながる林業生産力の向上を促進します

観光

- 観光資源を活用した滞在型観光を促進します

第4章

人と地球が共生できる 安全・安心で快適なまち

人々の安全・安心を守るために最低限の土地・資源の利用を進め、
人と地球の共生を持続できるまちを実現。
また、「こぎれいなまち」を目指した環境美化活動を進めます。



美しく、親しみやすいまちなみを作るため、街路樹の整備や電線の地中化などを推進しています。



安心して暮らせるよう優良住宅の供給を進め、地震に強い家づくりのための助成も行っています。



全国に先駆けて導入した、災害時の後方支援バス「あんしん号」。地震や洪水などの非常時には現場へ出動し災害対策本部となり、現地での拠点施設として被災者の応急手当や救助要員の搬送などを行うことができ、安心・安全なまちづくりのための力強いサポートが期待されます。



交通事故のないまちを目指して、街頭指導や交通教室などによる啓発、交通安全ボランティアの育成を図ります。



地震や洪水、火事などの災害は突発的に起きるもの。日頃から防災意識を高め、万一の事態に備える必要があります。避難訓練や体験イベントへの参加を促すとともに、市民どうしの助け合いの意識を高めていきます。





関市総合斎苑わかさ



リサイクル施設



高井坪配水池



中池公園や百年公園といった大規模な公園から、ポケットパークなどの身近な公園まで、憩いのスポットが充実しています。



マンホールのフタは刀鍛冶と小瀬鯉飼をデザイン。



下水道の整備を進め、水洗化を促進。同時に、老朽化した施設の更新や耐震機能の強化などにも取り組んでいます。

環境・美化

- 環境を守るルールの遵守を通じて環境保護意識の強化を図ります
- さまざまなかたちで地球市民が主役となる環境保護活動を促進します
- 資源枯渇防止に有効な廃棄物のリサイクル化を促進します
- 広範な地域の環境破壊につながる公害の監視を推進します
- 身近な感染予防、公衆衛生を推進します

都市計画・土地利用

- 都市計画区域内の市街地形成を計画的に促進します
- 土地利用の基礎的資料となる正確な土地情報の整備を推進します
- 整然とした宅地整備に向け、区画整理事業を促進します
- 市街地の居住に便利な住居表示を推進します
- 市域の整合ある土地利用を計画的に推進します
- 適正な土地利用による開発事業の実施を促進します

景観・緑化・公園

- 景観条例に基づき、景観保全を計画的に推進します
- 地域の景観に配慮した公共施設整備を促進します
- 見た目にも快適な道路となる沿道の修景整備を推進します
- 集い、語らい、やすらぎ、親しみが持てる公園を充実します

住宅・宅地

- 定住人口の増加につながる快適で安全な民間住宅の建設を促進します
- 住宅弱者の居住の保障を促進します
- 過疎地域の定住人口増加につながる住宅整備を推進します

火葬場・斎場

- 墓地・斎場を適正に運営します

水

- 「安くて・安全・おいしい関市の水」の安定供給を確保します

下水道

- 都市の水循環に大切な役割を果たす下水道整備を推進します
- 下水処理場からの放流水質の向上を推進します
- 市街地の降雨災害を防止する都市排水機能を強化します

防災・防犯

- 地域防災力の向上を図るため、防災対策を計画的に推進します
- 消防組織の火災、救助に対する消防力の強化を促進します
- 自主防災組織による市民の防災行動力の充実を促進します
- 災害の多様化、大規模化に対応するため、消防の広域化を推進します
- 河川の氾濫による水害への対応力を充実します
- 有事の際に計画に従った措置を適正に実施します
- 安全・安心な市民生活の維持に向け、犯罪の抑制を促進します

交通安全

- 交通弱者の安全を重視した交通安全意識の定着化を推進します
- 交通弱者も安心して通行できる地域事情を考慮した安全施設の整備を推進します

治山・治水

- 水害から市民を守るため、総合治水対策、護岸、堤防整備を推進します
- 林地の治山工事を促進することで、多様な機能を保全し、下流域の災害を防止します
- 土石流の発生やがけ崩れの発生を防止するため、砂防工事を促進します

第5章

郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち

関には鵜飼や刀鍛冶など、誇るべき伝統技術が受け継がれています。郷土について学習することで豊かな感性を育むとともに、志を持つ自立した青年の育成にも力を入れています。



関市総合体育館内温水プールや中池市民プール、武芸川健康プールなどの水泳施設も豊富。水中運動教室なども行っており、健康増進を支援しています。



スポーツは、心身の健康を維持するのにとても有益です。体育館の開放やスポーツ教室の開催などを通じて実践する機会を広げています。



子どもたちの安全、安心な居場所として、地域の方が講師となり、放課後や休日に体験活動を行っています。



高等学校教育では、学力と技能が身につく職業教育事業を推進。また情報社会に対応してIT授業も取り入れています。



子どもたちが健全に育つよう、市内一斉あいさつ運動や地域社会との交流、社会奉仕活動などを推進。子ども見守りボランティアの登録者も募っています。さらに子どもを犯罪から守るため、防犯活動も活発に行っています。





生涯学習は、生きがいのある毎日を創出します。人づくりを通してまちづくりへとつなげていけるよう、市民と市が協働して取り組んでいます。



義務教育は人づくりの基盤となるもの。確かな学力とともに豊かな心を育むため、地域社会と一体になった教育も推進しています。また、小学校低学年の個性を伸ばすため、わかあゆプラン事業も展開しています。



体力を向上させるとともに親睦を図るため、関市駅伝競走大会を開催。学生から壮年世代まで、幅広い年齢層の市民が関市内を駆け抜け、爽やかな汗を流します。



塚原遺跡では、縄文～古墳時代の竪穴住居や古墳などが発掘されました。これらが復元・展示されているのが塚原遺跡公園。展示館には出土品が置かれ、当時の生活を学習できます。



関市立図書館は、インターネットやAVコーナー、せき・わかくさ文庫など充実した内容。2つの分館、3つの分室の他、支所や各地域のふれあいセンターでも図書館の本を利用できます。

生涯学習

- 市民と行政が協働して、生涯学習まちづくりを推進します
- 生涯学習と出会い、生涯学習への理解を深める機会を充実します
- 生涯学習の活動拠点を充実します

社会教育

- 公民館活動などを通じ、家庭、地域などの社会教育を促進します

スポーツ

- スポーツの普及を計画的に推進します
- スポーツと出会い、スポーツを実践する機会を拡充します
- 施設を充実させ、スポーツに親しむ環境を整えます
- スポーツを普及し、日常化を図るための指導体制を充実します

図書館

- 知識向上に役立つ図書館の活用を促進します

青少年

- 青少年が健全に成長できるよう、環境を整備し、自立を促します

学校教育

- 多感な幼児期の学力向上を図るため、幼児教育を充実します
- 志ある青年への成長の礎となるよう、確かな学力と豊かな人間性を育む教育を充実します
- 安全でゆとりある教育を実施するため、教育施設を充実します
- 安全・安心な学校生活を維持するため、児童生徒の健康の見守りを充実します
- 実践力ある社会人、地域人を育むため、高等学校教育を充実します

文化・文化財

- 歴史・伝統ある郷土文化の保存・継承・活用を推進します
- 文化活動に参加できる機会を充実します
- 文化への理解を深めるため、身近な文化施設を充実します



第6章

改革と協働

行政目線から市民目線、 管理から経営への転換

市民が描く夢を実現するには改革と協働が欠かせません。
市民目線によるコスト・成果志向の行政運営を進めると同時に、市民と行政が協力し合って目標達成を目指します。



「行政主導」から「市民主体」の行政運営への転換をするため、固定観念にとらわれない柔軟な思考と行動力で、多様な市民ニーズに迅速かつ的確に対応できるよう組織全体として総力を上げて行政改革を進めます。

地元の大学と行政が、様々な分野で包括的に連携、協力し、地域が抱える課題に対応するため、官学の連携協定を締結。市民協働も積極的に実践し、大学の持つ知識を活用して市民活動や行政活動をさらに活性化させます。



行財政改革

- 総合計画を基本とする政策体系を明確にし、効率的な行政経営を推進します
- 行政活動の成果を明確な基準で評価する行政評価システムを適正に運用します
- 透明性の高い堅実な財政運営を推進します
- 行政改革大綱に基づき計画的かつ確実に改革を推進します
- 公有財産の取得、管理、処分の適正な実施を推進します
- 自立した経営に向け、財源の確保を推進します
- 自律ある行政経営のため、職員の資質向上を図ります
- 事務の適正な執行を推進します

協働

- 協働の基本的なルールづくりを推進します
- 市民目線の「情報の取扱い」「適正な手続」を充実します

都市間交流・広域行政

- 市民活動の広域化につながる広域的連携を推進します

日本一しあわせなまち、関市を “市民の手”で創ろう。



■ 市民改革2011 ～基本姿勢3本柱～

- 1 市民のみなさんの知恵と力を集め、一緒にまちを創る
- 2 貴重な税金を1円たりとも無駄にせず、「最小費用で最大効果」を生む行政をめざす
- 3 情報公開と説明責任を果たす、オープン(開かれ)で、フェア(公平公正)な市政

しあわせなまち・関市にするための 5つの改革の取り組み

1 “市民主権、市民自治” 自分たちのことは自分たちで決める社会に。

関市をつくっているのは、市民一人ひとりの力です。声の届く市政とは、直接伝えることができる環境であり、参加できる市政です。行政と地域、行政と市民がともに知恵と力を出していく行政をめざします。

2 “見える市政、届く声” 信頼される行政運営を。

急変する時代でも持続可能な財政運営をめざし、学校耐震化や上下水道など必要な設備には投資を行うとともに、お金の使い道をハードから、心のつながりを醸成するソフトへと転換します。

3 “子育て、教育、まちぐるみ” 未来の宝、子どもたちに投資します。

子どもたちこそ、未来の宝。これからの関市を担う子どもたちの教育・子育て環境に投資して、子どもたちの笑顔と、見守る家族や地域の笑顔を増やします。

4 “弱者にやさしい「まち環境」へ” 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。

市民一人ひとりの大切な「命」を守ることが政治の使命。お年寄りや障がい者の方も安心して住みやすいまちになるよう、医療や福祉の充実、環境整備をめざします。

5 関の宝を掘り起こす! 郷土・せきブランドの発掘。

広報発信力に力を注ぎ、今ある資産、市民の暮らし、地域の特長を活かした、みんなが自慢できるまち・関市ブランドを推進します。



市長と「車座集会」



市民の皆さんと市長との対話を通して、市政に対する市民の皆さんの理解を深めていただき、ご意見や提言を聴かせていただく「車座集会」を開催しています。

「車座集会」は、各種団体やグループなどの単位で6人から15人程度で開催し、これからの市全体または地域のまちづくりの推進などについて、市民の皆さんとひざを付き合わせて語り合う会です。年間100回の開催を目指します。

未来にはばたく関市

日本のほぼ真ん中に位置する関市は、豊かな山々と清らかな川に育まれ、文化や産業が息づき、歴史が薫るまちです。清流長良川では一千有余年の長い歴史を持つ小瀬鵜飼が行われ、古くは鎌倉時代よりわが国最大の産地として刀鍛冶が栄え、その伝統は脈々と今に受け継がれています。

本市は、平成十七年の合併で市域が大きく広がり、その地形はあたかも鳥が翼を広げて飛び立つ姿を想像させます。東海北陸自動車道と東海環状自動車道の結節点という地の利を活かし、地場産業の刃物だけでなく、自動車関連産業などが数多く進出し、本市は活力ある産業都市として国内はもとより世界へ飛躍してまいります。

私たちは、市民の皆さんと手をとって、未来にはばたく関市を創りあげていきます。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



関市長 尾関 健治

■市のキャッチフレーズ

ときめき きらめき いきいき せきし

■シンボルマーク



■市の色／わかくさいろ



■市章



イメージキャラクター
関*はもみん

関市民憲章（昭和50年10月15日制定）

わたくしたちは、自然に恵まれた

伝統ある刃物のまちの市民であることに

誇りと責任を持ち、感謝の心で郷土を

住みよくするために、

みんなで力をあわせます。

育てよう こころ豊かなまちづくり

鍛えよう からだ丈夫なまちづくり

伸ばそう 希望あふれるまちづくり

彩り豊かな未来へー

■ 市の花／きく



■ 市の木／すぎ



■ 市の鳥／かわせみ



■ 市の魚／あゆ



姉妹都市・ 友好都市提携



■ 姉妹都市
モジ・ダス・クルーゼス市(ブラジル)



■ 姉妹都市
富山県氷見市



■ 友好都市
黄山市(中国)



関市 市勢要覧 2011
Summary of Seki City Administration

発行／岐阜県関市
〒501-3894 岐阜県関市若草通3-1
TEL.0575-22-3131 FAX.0575-23-7744
URL <http://www.city.seki.gifu.jp>

発行年月／平成24年1月31日

企画編集／関市広報課